

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路地区体育館		No.	130
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	体育館を解体後に同敷地に馬路まちづくりセンターを建設することも検討したが、令和5年度の建設にはタイムスケジュールがあわない。まちづくりセンターは隣接地(グランド跡地)に建設予定であるため、昭和45年建築の老朽化した体育施設は廃止とすることが妥当と判断する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2029年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		まちづくりセンターは隣接地（グラウンド跡地）に建設予定
第2期	2022年度	目標・取り組みを達成	現在は、使用を中止し地域の祭事用部品等の物置として活用している。廃止時期について、住民との協議が必要。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和45年
建物延面積	578.17 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	標高10mライン以下

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、大田市体育施設（公園施設であるものを除く。）の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 現施設は廃止が原則

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	966,900円	アスベスト調査	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		966,900円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-966,900円	市民一人あたり税金充当額	-30円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,672円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,649円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津地区体育館		No.	131
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	当該施設は、昭和55年に建設された施設で老朽化も進んでおり、外壁の一部も破損している。体育施設としては平成28年より未利用であり「廃止」が妥当と判断している。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	すでに老朽化が進み、体育館としての一般開放は休止している。		ピアノの再利用には引取り費用が掛かり、体育館解体と同時に処分したほうが費用がかからないことが判明。
第2期	2022年度 解体に向けた協議	進捗していない	学校施設の解体も併せて協議が必要
	2023年度 解体に向けた協議		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	532.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接。運動場の一部は土石流の警戒区域

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、大田市体育施設（公園施設であるものを除く。）の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 現施設は廃止が原則。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田地区体育館		No.	132	担当部署名	教育部社会教育課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	屋内スポーツ施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名			計画期間			改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	廃止予定のため	

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	当該施設は昭和45年に建設された施設であり、耐震未診断で劣化状況度得点も100点となっており、体育施設として利用中止することが望ましい。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		これまで当該施設は、地元の行事（運動会、文化祭、老人会等）で利用され、避難所としても指定されているため、地元住民からは当該施設を継続利用したいとの要望が出ている。
第2期	2022年度	用途廃止に向けた協議	進捗していない 地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2023年度	用途廃止に向けた協議	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和45年
建物延面積	559.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、大田市体育施設（公園施設であるものを除く。）の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 現施設は廃止が原則。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	95,212円	電気代、建物共済、管理委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		95,212円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-95,212円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-170円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-261円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,430	1,870	82	232	233	769	30%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民第2球場（管理棟）		No.	134
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	当該施設は昭和55年に建設された管理棟であり、耐震未診断で劣化状況度得点も100点となっている。現在施設を利用している団体等（第二中学校含む）との協議を経て方針を決定する。球場はそのまま継続して使用する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2027 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 老朽化はみられるものの使用に支障をきたす状況ではない。		照明塔、スコアボードの建屋、キュービクルは使用していないが、撤去費用の確保が難しい。また、ダッグアウトも老朽しているので併せてあり方の検討が必要である。
第2期	2022年度 管理棟だけではなく、第二球場自体の在り方を検討する。	進捗していない	老朽等により使用できない照明塔、スコアボードの建屋、キュービクルの撤去費用の確保。今後も使用予定の管理棟、ダッグアウト等の修理・検討が必要である。
	2023年度 管理棟だけではなく、第二球場自体の在り方を検討する。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	213.90 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	'平成15年に大田勤労者体育センターから移譲を受け、スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置された。
適正化計画上の実施方針	個々に必要性を検討する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	10,890円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		10,890円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	26,400円	漏電調査・修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	24,773円	電気代	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		51,173円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-40,283円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-188円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-110円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし							
年間利用人数			7,668	6,829	7,056	6,490	8,533	7,315	116%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	上村会館		No.	135
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	地元団体へ譲渡済

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
								③地域移管 済
『該当する』を 選択した理由								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和21年
建物延面積	178.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第1項の規定に基づき、地域住民の生活、文化の向上を図るため、大田市小規模集会所(以下「集会所」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	地域移管とする。

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧井田公民館		No.	137
大分類	02社会教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	井田小学校統合前は「民具の館」として児童の校外学習に活用されていたが、現在は利用のないまま閉館、放置されている。近隣のまちセンも長年利用していないため廃止可能と判断したものの。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	館内整理								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	屋内収蔵品の確認・整理		専門的な知見を有する者に保存が必要なものの選別を行ってもらう必要がある。
第2期	2022年度	屋内収蔵品の確認・整理	進捗していない	収蔵品の廃棄と施設の解体
	2023年度	屋内収蔵品の確認・整理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和51年
建物延面積	157.50 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	廃止とする

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津会館		No.	150
大分類	02社会教育系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	令和5年3月31日まで指定管理を延長後、廃止するため

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	現在地元団体が管理者となり管理・運営を行っている。地元団体と協議の結果、令和5年3月31日まで指定管理を延長後、廃止することで合意。 令和5年3月31日をもって用途廃止済。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	地元団体と協議		地元団体へ廃止か地域移管への方向性を説明し、地域住民の意見の取りまとめを依頼した結果、廃止で合意。
第2期	2022年度	指定管理期間を1年延長後廃止	目標・取り組みを達成	重伝建地区であり、解体後の土地について関係課との協議が必要。
	2023年度	用途廃止 アスベスト調査		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和57年
建物延面積	206.86 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜警戒区域

関連条例等	小規模集会所設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	市及び地域住民が行う生活文化の向上に係る行事に使用するため設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	13,500円	中国電力（電柱）	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		13,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	33,895円	火災保険料 消防用設備保守点検	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		33,895円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-20,395円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-99円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-56円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			2036	1678	546	710	765	1,147	66%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万コミュニティセンター		No.	159	担当部署名	教育部社会教育課	
大分類	02社会教育系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	廃止のため	

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	当施設は昭和58年に建設され37年が経過しており、施設の基礎部分と外壁の一部に劣化箇所が発生している。平成26年に外壁の補修工事を実施。今後、仁摩地区全体での公共施設の整理が必要となっているため、指定管理の継続は行わず廃止することとして地元団体も合意。令和3年3月31日をもって用途廃止済。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 地元指定管理団体との協議の結果、2020年度末に廃止。		
第2期	2022年度 用途廃止 アスベスト調査	目標・取り組みを達成	財産処分に当たっては同一筆にある銀の道商工会と協議が必要。
	2023年度 解体に向けての協議		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和58年
建物延面積	369.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市仁万コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域社会の拠点として広く活用し、地域産業の振興及び地域連帯意識の高揚と生活文化の改善により健康で文化的な地域づくりに寄与するため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	2,563,000円	災害対策工事	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,257,800円	アスベスト調査 賠償金	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,820,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,820,800円	市民一人あたり税金充当額	-117円/人
	延床面積あたり税金充当額		-10,354円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-10,468円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	2052	1934	959			989	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田陸上競技場（倉庫）		No.	160
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	当該施設は平成5年に建設された管理棟であり、施設を利用している団体等（第二中学校含む）との協議が必要である。高跳び用マットやハードルなどのスポーツ用品を格納するために、必要規模の立替が必要と考える。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2027 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	2020年4月から第4種公認の条件が緩和され、不用となった用具が発生している。競技場倉庫を有効に活用するため備品の整理を行う。		第4種公認を継続するか、公認を取らずに運動場とするか方針を決めることが必要。公認を取らない場合、公式記録を他市で大会を開催するための費用が発生する場合もある。
第2期	2022年度	進捗していない	第4種公認を継続しない旨を競技団体等に説明を行ったが、倉庫の備品整理を行う必要がある。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	72.00 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	'大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	公認競技場である大田市立第2中学校陸上競技場における大会本部運営及び競技用具の収納のため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入				施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料				指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	53,900円		照明機器修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他				上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		53,900円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			-53,900円	市民一人あたり税金充当額	-2円/人
	延床面積あたり税金充当額			-749円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-148円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里地区体育館		No.	363
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	旧湯里小学校に付属していた施設であり、校舎は湯里まちづくりセンターとして活用されている。もともと一つの施設であったもの（同一敷地内）を課で分割しての管理は煩雑になるため、湯里地区運動場と合わせて、今後の方向性を協議する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2025 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		令和2年度において単独浄化槽に亀裂が見つかり現在使用ができない。県の砂防ダム工事にて支障移転の必要がありその際に修繕を行うことが好ましい。
第2期	2022年度	進捗していない	令和2年度において単独浄化槽に亀裂が見つかり現在使用ができない。県の砂防ダム工事にて支障移転の必要がありその際に修繕を行うことが好ましいが現在県の地質等調査中。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	680.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域、急傾斜地の崩壊警戒区域

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	50,490円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		50,490円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	217,262円	消耗品費、電気代、建物共済、管理委託料、消防設備・防火対象物・電気工作物保守	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		217,262円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-166,772円	市民一人あたり税金充当額	-5円/人
	延床面積あたり税金充当額		-245円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-457円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	440	1,060	2,009	2,114	1,666	1,457	114%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代地区体育館		No.	364
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	旧大代小学校に付属していた施設であり、校舎の活用と合わせた利用・管理が求められる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2025 年度以降							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	庁内関係課で今後の方向性を協議する。		地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
第2期	2022年度	進捗していない	地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	1,180.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	9,020円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		9,020円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	46,200円	屋根修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	130,598円	建物共済、管理委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		176,798円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-167,778円	市民一人あたり税金充当額	-5円/人
	延床面積あたり税金充当額		-142円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-460円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	1,120	757	341	354	266	567	46%		

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山地区体育館		No.	365
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	旧富山小学校に付属していた施設であり、校舎は富山まちづくりセンターとして活用されている。もともと一つの施設であったもの（同一敷地内）を課で分割しての管理は煩雑になるため、富山地区運動場と合わせて、今後の方向性を協議する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2025年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する。		
第2期 2022年度 2023年度 2024年度	地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する。	進捗していない	地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する。		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	1,192.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	5,170円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		5,170円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	132,015円	建物共済、管理委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		132,015円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-126,845円	市民一人あたり税金充当額	-4円/人
	延床面積あたり税金充当額		-106円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-348円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,815	1,268	810	1,111	1,048	1,210	86%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩伝統芸能伝承館		No.	366
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	②③で該当がなければ、①の選択が妥当と判断している。 避難所としての役割、地元の伝統芸能の伝承する施設等、スポーツ施設だけでない側面も大きい。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 庁内関係課で今後の方向性を協議する。		
第2期	2022年度 庁内関係課で今後の方向性を協議する。	進捗していない	地区の避難所としての観点からも、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2023年度 庁内関係課で今後の方向性を協議する。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	756.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	標高10mライン以下

関連条例等	大田市伝統芸能伝承館の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域における伝統芸能を受け継ぎ後世に伝える活動を通じ、後継者の養成と郷土愛を育む場として、又住民の健康づくりを通じた交流の場として活力ある地域づくりに寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	97,686円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		97,686円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	85,690円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	522,466円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		608,156円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-510,470円	市民一人あたり税金充当額	-16円/人
	延床面積あたり税金充当額		-675円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,399円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		2,629	2,013	1,819	1,347	1,685	1,898	88%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩文化振興会館		No.	367
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	大国

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	②③で該当が無ければ、①の選択が妥当と判断している。 避難所としての役割、旧大国小学校という立地条件で、スポーツ施設だけでなく地域に根付いた文化的側面も大きい。 同一敷地内で、まちづくりセンターと一体化した管理運営が望ましいと考える。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	庁内管理課で今後の方針を協議する。		
第2期	2022年度	進捗していない	地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	838.70 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市文化振興会館の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域における文化を受け継ぎ後世に伝える活動の場として、又住民の健康づくりを通じた交流の場として、活力ある地域づくりに寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	178,204円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		178,204円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	84,700円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	644,077円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		728,777円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-550,573円	市民一人あたり税金充当額	-17円/人
	延床面積あたり税金充当額		-656円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,508円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	4,576	4,387	4,262	4,458	3,972	4,331	91%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市立中央図書館		No.	369	担当部署名	教育部社会教育課	
大分類	02社会教育系施設				ブロック	中央	
小分類	図書館				地区	大田	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名		計画期間		改定・見直し 時期	
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	温泉津図書館を廃止、仁摩図書館へ統合する方針で調整中。仁摩・温泉津図書館統合後は、当面の間、市内2館体制で運営することを想定。将来的に、中央図書館と仁摩図書館を統合させる可能性も考えられるが、現時点では未定。 中央図書館空調設備更新工事を2020(令和2)年度実施、照明器具取替及び2階回廊改修工事を2021(令和3)年度実施。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 大田市中央図書館環境整備事業(空調設備更新、照明器具取替、回廊等改修)を実施。市民に対し、安全安心な読書環境の提供を行う。 温泉津図書館を廃止、仁摩図書館へ統合する。		照明器具取替及び2階回廊等改修工事は完了。仁摩・温泉津図書館統合に向けた協議は未実施、今後協議を進めていく必要がある。
第2期	2022年度	取り組みが実施できていない	地元関係各所と協議を行うも、共通点が得られず、進んでいない。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	2,581.82 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市立図書館設置条例
設置(目的等)	書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究、レクリエーション等に資するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	440,676円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		440,676円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	14,751,878円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		14,751,878円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-14,311,202円	市民一人あたり税金充当額	-440円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,543円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-39,209円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	28,910	28,175	417	720		11,644	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市立仁摩図書館		No.	370	担当部署名	教育部社会教育課	
大分類	02社会教育系施設				ブロック	仁摩	
小分類	図書館				地区	仁万	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名			計画期間		改定・見直し 時期	
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	温泉津図書館を廃止、仁摩図書館へ統合する方針で調整中。仁摩図書館の生涯学習センター機能は継続する。 建物の老朽化が進んでおり、特に空調設備において2016(平成28)年に蓄熱タンクの水漏れが発生、現在は修繕済。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	仁摩・温泉津図書館の統合に向け、協議を行う。 温泉津図書館の利用状況等を把握する。		温泉津図書館の統合に係る協議を進め、方針や具体的なスケジュールを決定する。利用者及び関係各所へ必要な説明等を行う。 公共施設適正化計画策定への取組、空調設備の改修について検討。
2022年度	協議を進め、方針等を決定。スケジュールに基づき、関係各所へ必要な説明を行う。2022(令和4)年度の統合を進める。	取り組みが実施できていない	地元関係各所と協議を行うも、共通点が得られず、進んでいない。
第2期 2023年度	設備の状態を把握し、修繕等を行う。		
2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	978.75 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市立図書館設置条例
設置(目的等)	書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究、レクリエーション等に資するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	242,135円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		242,135円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,280,324円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,280,324円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,038,189円	市民一人あたり税金充当額	-155円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,148円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-13,803円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	9,919	9,446	373	528	530	4,159	12%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田運動公園		No.	371
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無 なし	策定しない場合 理由 今後の方向性が確定してから判断する

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	西部
地区	烏井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	大田運動公園の駐車場トイレは、現在、男子トイレの便槽が、土圧により変形、地下水が流入するので使用禁止とし、多目的トイレで代用していたが、大田運動公園整備事業に伴いトイレの修繕を行う。 多目的広場の管理棟は、H26に建築されたもので、当面問題はない。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度	2027 年度以降			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	駐車場のトイレは、使用できなくなり次第トイレとしては使用禁止、用途変更（倉庫等）とすることで教育長まで協議済み。			
第2期	2022年度	駐車場のトイレは、男子トイレについては多目的トイレを代用。使用できなくなり次第トイレとしては使用禁止予定。	取り組みが実施できていない	大田運動公園整備場に伴いトイレの修繕を行うことになった。
	2023年度	駐車場トイレの修繕を実施。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成11年
建物延面積	203.92 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



駐車場トイレ



多目的広場管理棟

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	6,768	7,006	5,509	5,432	6,558	6,254	104%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津プール建物		No.	372
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	現在も施設の利用は行われていない。民間移管、地域移管には該当しないため廃止として判断する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	用途廃止		条例改正済
第2期	2022年度	進捗していない	学校施設の解体も併せた協議が必要。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和61年
建物延面積	73.13 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式社会体育施設管理棟		No.	373
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	地域移管するため

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	用途が祖式地区の体育祭のための倉庫であるため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		
第2期	2022年度	地域住民等と地域移管について協議。 進捗していない	
	2023年度	地域住民等と地域移管について協議。	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	19.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	地域運動器具収納のため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)	
年間利用人数								